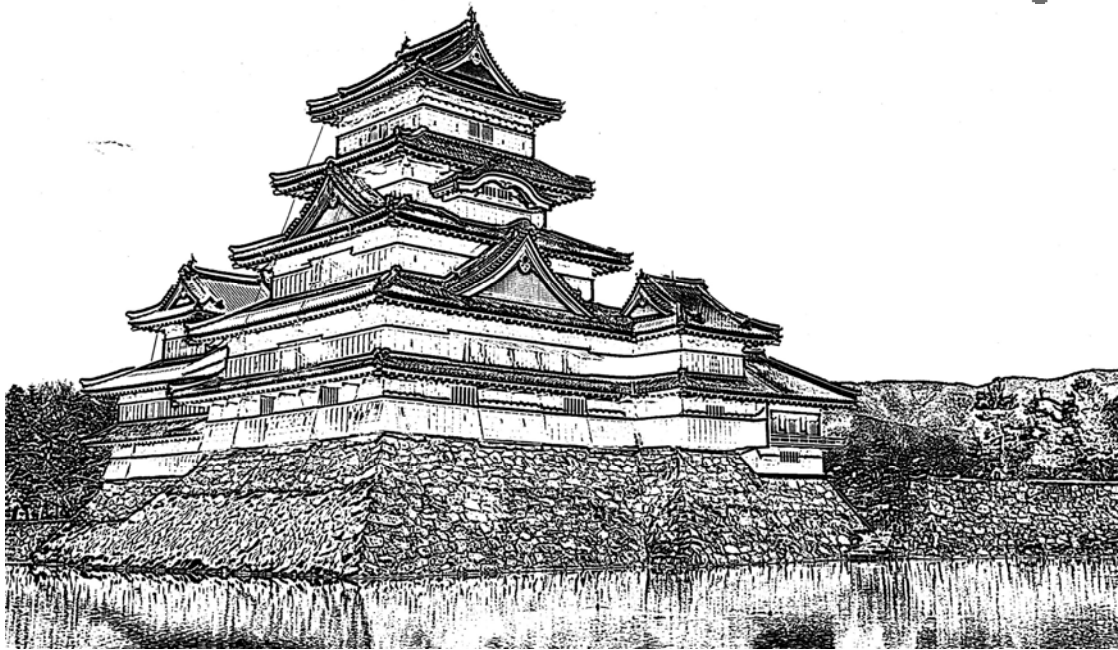


平成25年度

第42回全国高等学校選抜バドミントン大会
(長野大会)

審判員・線審・得点表示 必携



期 日 平成26年3月21日(金)～24日(月)

(公財) 全国高等学校体育連盟バドミントン専門部

競技タイムテーブル

競技1日目 3月21日(金)

松本市総合体育館 大アリーナ										
コート	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
9:30~ 1・2回戦	GT1	GT2	GT4	GT5	GT6	GT7	GT8	GT9	GT10	GT11
2回戦	GT3	GT12	GT13	GR14	GT15	GT16	GT17	GT18		
3回戦	GT19	GT20	GT21	GT22	GT23	GT24	GT25	GT26		

信州スカイパーク 大アリーナ								
コート	1	2	3	4	5	6	7	8
9:30~ 1・2回戦	BT1	BT3	BT4	BT5	BT6	BT7	BT8	BT9
2回戦	BT2, BT10, BT11, BT12, BT13, BT14, BT15, BT16, BT17							
3回戦	BT18	BT19	BT20	BT21	BT22	BT23	BT24	BT25

競技2日目 3月22日(土)

松本市総合体育館 大アリーナ										
コート	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
9:30~ 準々決勝	BT26	BT27	BT28	BT29		GT27	GT28	GT29	GT30	
準決勝	BT30	BT30	BT31	BT31		GT31	GT31	GT32	GT32	
決勝	BT32			BT32	BT32		GT33	GT33	GT33	
	学校対抗戦 (表彰式はコート表彰で行う)									

競技3日目 3月23日(日)

松本市総合体育館 大アリーナ										
コート	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
9:30~ ダブルス1回戦	BD1	BD2	BD3	BD4		GD1	GD2	GD3	GD4	
2回戦	BD5	BD6	BD7	BD8	BD9	BD10	BD11	BD12		
2回戦	GD5	GD6	GD7	GD8	GD9	GD10	GD11	GD12		
準々決勝	BD13	BD14	BD15	BD16		GD13	GD14	GD15	GD16	
シングルス 1回戦	BS1	BS2	BS3	BS4		GS1	GS2	GS3	GS4	
2回戦	BS5	BS6	BS7	BS8	BS9	BS10	BS11	BS12		
2回戦	GS5	GS6	GS7	GS8	GS9	GS10	GS11	GS12		

競技4日目 3月24日(月)

松本市総合体育館 大アリーナ										
コート	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
9:30~ 準決勝		BD17		BD18			GD17		GD18	
決勝	BD19				GD19					
準々決勝	BS13	BS14	BS15	BS16		GS13	GS14	GS15	GS16	
準決勝	BS17		BS18			GS17			GS18	
決勝	BS19				GS19					
	個人対抗戦 表彰式									



競技審判上の注意

[全般的事項]

1. この大会は、(公財)全国高等学校体育連盟が定めた大会実施要項及び平成25年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程並びに同公認審判員規程により行います。
2. 審判はすべて大会本部にて行います。なお、サービスジャッジは、学校対抗・個人対抗ともに準決勝よりつけるものとします。その他の試合においては原則として付けません。
3. 選手は試合開始予定の1時間前までには会場に到着し、必ず「受付」を済ませてください。
4. 競技の進行を円滑に進めるために、「受付」「集合」等の時間厳守に努めてください。
5. 試合の進行状況に応じて、試合順番が変わることがあるので、放送には十分注意してください。
6. 試合を連続して行う場合のインターバルは次のとおりです。
<学校対抗> 学校対抗が連続する場合は30分とします。
<個人対抗> 個人対抗(単・複)が連続する時は20分とします
7. 各試合(マッチ)のインターバルは次の通りです。
○すべてのゲーム中、一方のサイドのスコアが11点になった時、60秒を超えないインターバルを認めます。(選手は20秒前にはコートに入ってください)
○第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認めます。(選手は20秒前にはコートに入ってください)
8. インターバル中のアドバイスは、監督・コーチなど同時に2人です。主審の「(コート番号)20秒」で、コートから離れてください。なお、コーチングシートを設けます。
9. 個人対抗戦単において、試合開始前の練習(3分間)をする相手は対戦相手とします。
10. 試合(マッチ)中の水分補給、汗ふきなどは必ず主審の許可を必要とします。なお、氷嚢の使用は、インターバル中のみとします。
○容器は倒れてもこぼれない蓋付きボトルを使用し、主審横の指定した入れ物に入れて下さい。
○氷嚢は、ベンチ、コーチングシートで保冷バッグなどに入れ、保管してください。
11. サービスの遅延行為に関する判定は主審が行います。
12. 主審が必要と認めた以外のプレーの中断は、一切認められません。
13. 次のような違反行為に対しては厳正に対処をします。(競技規則第16条)
○息切れなど体力回復等の遅延に関わる行為、又は、アドバイスを受けるためにプレーを遅らせる行為。
○主審の許可なしにコートを離れること。
○故意にシャトルに手を加えたり破損したりする行為。
○審判員や観客に対しての横柄な振舞い、下品で無礼な態度、言動。
○見苦しい着衣でプレーをする。
○ラケットや身体でネットなどのコート施設を叩いたり、耳障りなかけ声や奇声を発するなどの不品行な振る舞い。
14. 競技中は、必ず高等学校名・都道府県名の入ったシャツを着用するか、ゼッケンをつけてください。(背面の文字は明確に判読できるもの)
15. 競技中の怪我や病気については、主審が判断します。もし必要ならレフェリーを呼び、レフェリーの判断に従うこととなります。
16. 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認められません。もし判定に対し疑問がある場合には、次のサービスが為される前に「質問」をすることができます。ここで質問ができる者とは、学校対抗では当該選手と監督、個人対抗では当該選手に限ります。(監督は「IDカード」を必ず付けてください)
17. 選手は試合終了後、選手同士の握手の後、主審(サービスジャッジ)とも握手をすることを心掛けてください。
18. 競技場内では、携帯電話の電源を切るか、もしくはマナーモードにしてください。また、競技フロア内での携帯電話の使用は、一切認めません。
19. 試合中にモバイル機器を使用したアドバイス・コーチングを受けることを禁止します。
20. その他は、監督会議における打ち合わせ事項に準じます。



競技審判上の注意

【学校対抗に関する事項】

1. 監督、コーチ、マネージャー、選手の変更は監督会議をもって最終のものとし、以後の変更は一切認められません。
2. 初回戦のオーダー用紙は、監督会議資料の袋に同封してあります。次回戦以降は主審より直接手渡します。
3. オーダー用紙は、5枚複写で記入し、(1) (2) (3) (4)は提出し、(5)は自校で保存します。
4. オーダー用紙は、オーダー交換所に提出して下さい。なお、対戦校立合いのもとでオーダー交換を行いますので、時間厳守をお願いします。
なお、競技1巡目は8：45とします。2巡目からのオーダー交換は、放送でお知らせします。
5. 定時（指示のあった時刻）までにオーダー用紙の提出が無い時には「棄権」とします。
6. エントリーをしている者（監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手5～7名）は、放送の指示で選手集合所に集まってください。
7. ベンチに入ることができるのは、当該試合にエントリーされた者のみです。
8. 入場は、主審の誘導により、組合せ番号の先番チームからとします。
9. 試合開始前の練習は、対戦チームとあいさつを交わした後、主審の指示で各マッチ（試合）毎に3分間行ってください。なお、当初から2コート以上を用いて試合をする場合も同様に、マッチ（試合）の開始前に3分間行ってください。
10. マッチ（試合）は、1回戦より2～3コート並行して行うことがあります。その際、同一選手が連続して試合をする場合のインターバルは10分とします。
11. マッチ（試合）は、勝敗決定（3マッチ先取）後、打ち切りとします。
12. 勝敗が決定したら対戦チームとあいさつをし、主審の誘導により、プラカードに続いて整列し、勝利チームから退場をしてください。

【個人対抗に関する事項】

1. 選手の変更は、いかなる場合でも認められません。
2. 選手は、放送の指示で選手集合所に集まってください。
3. 入場は、主審の誘導により、組合せ番号の先番選手からとします。
4. 試合開始前の練習は、あいさつの後、主審の指示に従い、同時に3分間とします。（単の場合、対戦者同士で行ってください）
5. 勝敗決定後は、対戦相手とあいさつをし、主審の誘導によりプラカードにつづいて整列し、勝者から退場してください。

【一般上の注意】

1. 競技会場の開場は、8：00です。
2. 競技者は会場到着後、必ず「受付」を済ませてから入場してください。
3. 競技会場では、係員の指示や会場の表示に従って、下履きと上履きの区別を付けてください。
4. 競技フロア内での飲食は禁じます。但し、「競技審判上の注意、全般的事項 10」に関わることのみ認めます。また、クーラーボックスなどのフロアへの持ち込みは禁止します。
5. 部旗、応援旗を使用する際には、競技に支障のないように配慮をお願いします。なお、大会本部が競技や大会運営に支障があると判断した場合には、指示に従って撤去して下さい。
6. 応援の際、競技に支障をきたすことがないように配慮をお願いします。太鼓やラッパなどの鳴り物、うちわ、メガホンなどを利用した応援は禁止します。競技に支障があるとレフェリーが判断した場合は、競技規則に基づき厳正に対処します。
7. フラッシュ・ストロボ等を用いての写真撮影は禁止します。また、会場施設内の電源（コンセント）の使用は禁止します。ご協力ください。
8. ゴミは各自で責任を持って処理し、「可燃物ゴミ」「不燃物ゴミ」「ビン」「カン」「ペットボトル」の分別収集に協力をお願いします。「来たときよりも美しく」の気持ちを心掛けてください。
9. 競技中の疾病、傷害については応急処置のみ主催者側で行いますが、その後は各自で処置をしてください。
10. 防犯上、貴重品はじめ私物の管理は、各自（各チーム）で責任を持って行ってください。
11. 競技会場で2階の観覧席から応援する場合、フロアへの落下防止のため、最前列は着席して応援してください。また、通行に支障が生じる通路での応援も配慮をお願いします。

審判員の業務の流れ

(SJの記述は学校対抗、個人対抗ともに準決勝より)

試合進行の基本：①試合番号順にしか入れない。
②タイムテーブルには第一試合開始時間だけ記入のため、予想より早く試合に入ることがある。

○次回試合分の主審(一般)及び線審・得点表示員(高校生)は、競技役員(又は審判、補助員)控室に待機する。

○主審はタイムテーブル20分前又は審判の呼び出しがあったら、進行係へ行く。S J・線審・得点表示員(高校生)は、選手集合所へ行き、担当試合番号の列に整列する。

【進行・放送委員がタイムテーブルに従い、選手集合の放送を行う】
(試合開始20分前を基準とするが、進行からの指示に従う)



主審	進行係より審判カゴを受け取り、担当試合番号の列につく。
S J	担当するコートに列に整列する。主審よりS Jセットを受け取る。
線審	担当するコートに列に整列する。線審①②はプラカードを持つ。
得点表示員	担当するコートに列に整列する。主審より得点表示セットを受け取る。



主審	S J・線審・得点表示員及び選手の集合状況を確認し、招集委員に「集合完了」の報告を行う。 ○招集委員の指示に従い、入場の準備を行う。
----	---



○進行・放送委員(又は招集委員)の指示に従い、主審先頭に先番より入場する。 【進行・放送委員が、試合の放送をする】
--



試合開始 → 試合終了

○主審を先頭に、勝者から退場する。



主審	アリーナを出て、選手や他の審判員へ挨拶をする。 審判カゴの内容をチェックする。(チェックリストあり) 確認後、審判カゴを進行係に返却する。 記録整理場所でスコアシートを整理し、レフェリー又は競技審判部長から検認(サインを貰う)を受ける。レフェリーチェック終了後、スコアシートを競技本部の進行・放送委員に提出する。 控室へ戻り、次回担当する試合番号を、審判委員に確認してから終了。
S J	アリーナを出て、選手や他の審判員へ挨拶をする。 S Jセットを主審に渡し、レフェリーのところへ主審と同行する。 控室へ戻り、次回担当する試合番号を、審判委員に確認してから終了。
線審	アリーナを出て、選手や他の審判員へ挨拶をする。 その後、線審①②は選手集合所へプラカードを返却する。 控室へ戻り、次回担当する試合番号を、線審・得点表示委員に確認してから終了。
得点表示員	アリーナを出て、選手や他の審判員へ挨拶をする。 得点表示セットを主審に渡す。 控室へ戻り、次回担当する試合番号を、線審・得点表示委員に確認してから終了。

審判員への注意・審判上の留意事項

審判員は、「競技規則」、「大会運営規程」及び「公認審判員規程」に精通し、試合においては、自覚と責任を持って真摯に取り組んでください。

「審判員の判定は、その審判員の責任とするすべての事実に関して最終のものであるので厳正に判定を行ってください。

また、全てのコール及びアナウンスは、プレーヤーにも観衆にもはっきりと聞こえるように明確に行ってください。

【主 審】

1 試合開始前

- (1) 得点表示器・ポスト及びネットに異状がないか、点検整備する。
- (2) サービスジャッジ（以下、S Jとする。）または線審と共に、ネットの高さをネットスケールにより点検し、ネットの両側とポストの間に隙間がないか、ポストにしっかり結ばれているかの確認をする。
- (3) S J及び線審の位置を確認する。
- (4) 線審及びコート補助員の役割と配置に精通し、必要な指示をする。
- (5) 校名及び選手名プレートを確認する。
- (6) プレーヤーの服装や背面表示が、規定どおりのものであるかを確認する。
- (7) 必要な用具があるか、また、用具が所定の位置にあるかを確認する。
- (8) 整列し挨拶をする際、準決勝以降はS Jに代行させる業務（シャトル交換時の受け渡し・コート整備等）を両チームに伝える。
- (9) チームの公式練習時間（学校対抗戦はすべての対戦の前に両チーム同時に各々3分間、個人対抗戦は両選手同時に3分間）を計測する。ただし、個人対抗戦単は対戦相手と練習する。
- (10) トスした後エンドが決まったら、得点表示員に知らせる。
- (11) S J・線審・得点表示員の着席を待つため、試合開始コール「トウサーブ、ラブオール」の後、着席を確認してから間を空けて「プレイ」をかける。

2 試合時

- (1) 正しい審判用語を使用する。
- (2) 判定は迅速かつ厳正に行うが、間違ったときはそれを認め、訂正する。
- (3) 他の審判員の立場を尊重し、信頼関係を確立する。線審の判定は、アイコンタクトで毎回必ず確認する。
- (4) （審判員の判定に「疑問」があるときは、学校対抗戦では、当該プレーヤーと監督のみの、個人対抗戦では当該プレーヤーのみの「質問」は受けるが、「抗議」や「異議」は受け付けない。
- (5) 必要に応じて、シャトルの交換を許可する。
- (6) 試合中に、シャトルが不足しそうになった場合は、シャトルの筒を振り、競技本部のシャトル係員に伝える。もし、係員が気づかない場合は、試合と試合の間、もしくはインターバル中にS Jまたは線審に競技本部に急いで取りに行ってもらう。
- (7) トスは「コイン」で行う。
- (8) S Jがつく時は、サービス時、レシーバーを特に注目する。
- (9) S Jよりフォルトのコールがされたときは、「サービスフォルトコール」とコールする。レシーバーのフォルトは「フォルトレシーバー」とコールする。
- (10) サービスコートを間違えてスタートしたラリーは止めることができない。間違ったラリーの点数もそのまま加算され、サービスコートの間違いだけを直す。
- (11) インプレーで、シャトルがラケットに接触して、相手プレーヤーサイドに向かわなかったときはフォルトとする。
- (12) 競技規則に違反しているかどうか分からなかった場合、「フォルト」をコールせずに、そのままゲームを続行させる。

- (13) 全てのゲーム中に一方のサイドのスコアが11点になったと同時に、インターバル60秒間の計測を始める。
- ① ファイナルゲーム中のインターバルのみチェンジエングズが行われる。チェンジエングズは、「インターバル」のコールの後、速やかに行わせる。
 - ② インターバルでは、どちらのサイドも2人まで競技区域に入ってきてもよい。これはエンドを替えた後に入り、主審が、「(コート番号)20秒」とコールしたら、コートから離れるものとする。
 - ③ 残り時間のコールは、「○コート20秒」(2回繰り返す)のみとする。
 - ④ 11点のときにゲームを再開する際は、スコアを繰り返した後に「プレイ」とコールする。
- (14) 各ゲームの間のインターバルは、第1・第2ゲーム終了の「ゲーム」をコールすると同時に、インターバル120秒間の計測を始める。
- ① インターバルでは、どちらのサイドも2人まで競技区域に入ってきてもよい。これはエンドを替えた後に入り、主審が、「(コート番号)20秒」とコールしたら、コートから離れるものとする。
 - ② 残り時間のコールは、「○コート20秒」(2回繰り返す)のみとする。
 - ③ インターバルで片方のサイドが遅刻した場合、遅刻したサイドにレッド、カードを提示して、そのサイドをフォルトとし、相手に1点が与えられる。両サイドが遅刻した場合、フォルトは相殺となる。どちらも競技役員長(以下、レフェリーとする)を呼んで報告する。
- (15) 競技中、不快な服装と思われる場合は、品位を保つようにさせる。
- (16) ファイナルゲームの開始前に、プレイヤーの背面表示の有無を確認する。
- (17) 競技規則第16条(プレーの継続、不品行な振る舞い)の違反は特に注意する。違反行為が行われたときは違反したサイドのプレイヤーに警告し、再度違反したときはフォルトとする。さらに違反した場合は、レフェリーを呼んで報告する。その内容はスコアシートの違反をした選手の欄に記入する。
- (18) 汗拭き・給水については、主審の判断で許可する。なお、休息をとるための行為等がある場合は止めさせる。(競技規則第16条の違反を適用する。)
- (19) インプレー中にコート外から助言を受けたり、インターバルを除き主審の許可なくコートを離れないよう注意する。(ラケット交換・靴紐の締めかえなど)
- (20) インプレー中でなければコーチングは認められるが、インプレー中にコーチによりプレーが中断させられた、あるいは、相対するサイドのプレイヤーが注意をそらされたとき主審が判断した場合はレットとする。その後、レフェリーを呼んで報告する。
- (21) ケガや病気の場合には、慎重かつ適切に処理する。原則として事故タイムはありません。※緊急に医師等による治療が必要な重大なケガや事故が発生した場合は、速やかにレフェリーに報告し、指示を仰ぐこと。なお、その際コートに入れるのは、レフェリーだけである。この間、インプレーでなくなった時からの経過時間を計測しておくこと。
- (22) 主審の判断で、線審が明らかに間違った判定をしたと確信した場合、主審は次のコールをする。
- ① インのとき:「コレクションイン」②アウトのとき:「コレクションアウト」
- (23) コート整備が必要と判断したときは、線審に整備を指示する。

3 試合終了後

- (1) 各試合終了後は、審判台に上がったまま、当該プレイヤー全員と握手を交わし、スコアシートに勝者サインをもらう。
- (2) 整列時には、荷物を持って並ばせる。

4 全試合終了後

- (1) 退場後、スコアシート・試合結果報告書以外の「主審セット」を進行係に戻す。
- (2) スコアシート・試合結果報告書を整理し、レフェリー又は競技審判部長から検認(サインを貰う)を受ける。
- (3) 検認を受けたスコアシートと試合結果報告書を競技本部の進行係に提出する。

【サービスジャッジ】(準決勝以降)

1 試合開始前

- (1) ポスト及びネット等の点検整備を行う。
- (2) ネットの高さをネットスケールにより点検し、ネットの両側とポストの間に隙間がないか、ポストにしっかり結ばれているか確認する。
※第一試合の前は、審判招集がかかる前に、それ以後は、前の試合が終了したらすぐに行く。
- (3) 線審と得点表示員の役割と配置に精通する。
- (4) 主審の試合開始コール「トウサーブ、ラブオール」の後、「プレイ」の前に着席する。

2 試合時

- (1) サービスの際、サービスに関するフォルトが起きたときには、直ちに「フォルト」とコールし、主審に何のフォルトであるかを必ず合図する。
- (2) シャトル交換は、主審の許可後にプレーヤーに渡す。
- (3) 試合中に、シャトルが不足しそうになった場合は、シャトルの筒を振り、競技本部のシャトル係員に伝える。もし、係員が気づかない場合は、試合と試合の間、もしくはインターバル中に急いで競技本部に急いで取りに行く。
- (4) インターバル（120秒）の際には、インターバルボードをネット中央下に置き、観客によく見えるようにする。
- (5) インターバルの際には、コート内をチェックし、必要に応じてコート整備を、線審に指示する。選手からコート整備の要求がないようにする。

3 試合終了後

- (1) シャトルを試合終了後主審に返却する場合、シャトルは「未使用」「使用済」に分けて返却する。
- (2) 各試合終了後は、起立して当該プレーヤー全員と握手を交わす。

4 全試合終了後

- (1) アリーナを出た後、主審と共に、レフェリー又は競技審判部長の元へ同行する。

【線 審】

1 試合開始前

- (1) 試合前の公式練習中は所定の位置で着席して待つ。練習終了と同時に起立して、主審の試合開始コール「トウサーブ、ラブオール」の後、「プレイ」の前に着席する。

2 試合時

- (1) 担当ラインを明確に知り、責任を持って判定する。オーバールールが適応されないようにする。
- (2) 合図を正しく行う。
 - ① インの時：無言で、手のひらを下に向け右手（片手）でそのラインを指す。
 - ② アウトの時：シャトルがラインの外に落ちたときには、直ちに、プレーヤーと観客にはっきりと聞こえるように「アウト」とコールし、同時に主審にはっきりと見えるように両腕を水平に開き合図する。
 - ③ 見えない時：両手で目を覆う
- (3) 次の点に注意する。
 - ① シングルス・ダブルスで椅子の位置を変える。
 - ② 常に試合に集中し、選手を追うのではなくシャトルから目を離さないようにする。（シャトルがコート面につくまでしっかりとシャトルを見る。）
 - ③ 椅子にあまり深く腰掛けないで、背筋を伸ばし、両足は床面に必ずつけて、担当ラインの延長線上でシャトルを見る。

- ④ 正確な判定をする。（早く飛んできたシャトルに対して、あわてて合図を示す必要はない。シャトルの落下点をしっかり確認し、インかアウトかを判断してから合図を示す。）
- ⑤ イン。アウトの判定は、自信を持って行う。（首を傾げたり舌を出したりすることは、絶対に行ってはならない。間違った判定を示した場合は、素早く合図をやり直す。観客や選手の言動に惑わされることなく判定する。）
- ⑥ シャトルがプレイヤーの陰になって、落下点が見えなかったということがないように、体を動かしてシャトルを見る。それでも見えなかったときは、その旨を主審に合図する。
- ⑦ 合図は、主審が確認するまで続ける。主審とアイコンタクトで毎回必ず確認する。
- ⑧ シャトルがプレイヤーに当たったときなど、主審が判定する前にコールまたは合図をしてはならない。
- ⑨ S J の指示に従って、インターバルの際には線審全員でコート上の整備を行う。ただ、コート上が汗で滑ったりごみが落ちていたら、インプレー中でない場面では選手の邪魔にならないように、手早くコート整備を行う。

3 試合終了後




- (1) 各試合終了後の挨拶時は、その場で起立する。

4 全試合終了後

- (1) 線審①②は、プラカードを掲げて、整列する。
- (2) 主審を先頭に、勝者チームから退場する。
- (3) アリーナを出た後、プラカードを選手集合所に返却する。

主審・S J・線審の合図

1 主審及びサービスジャッジの合図

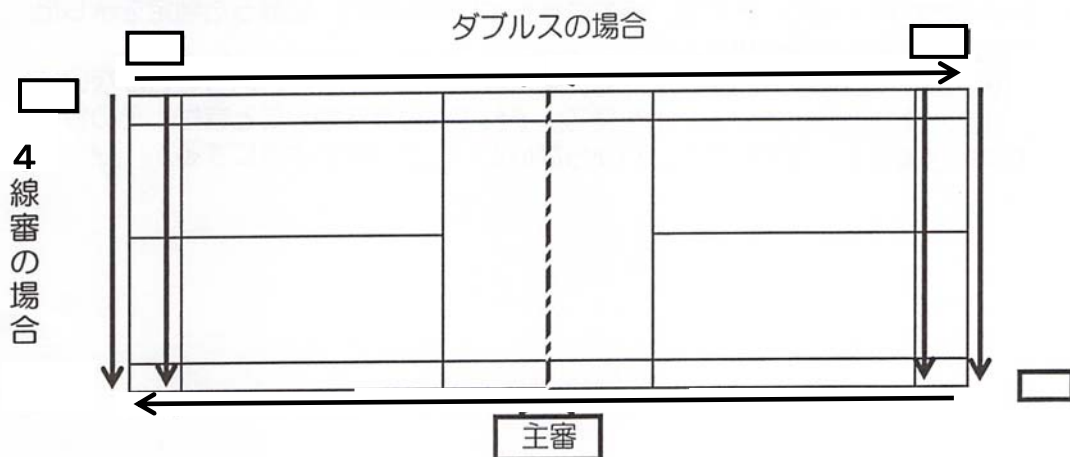
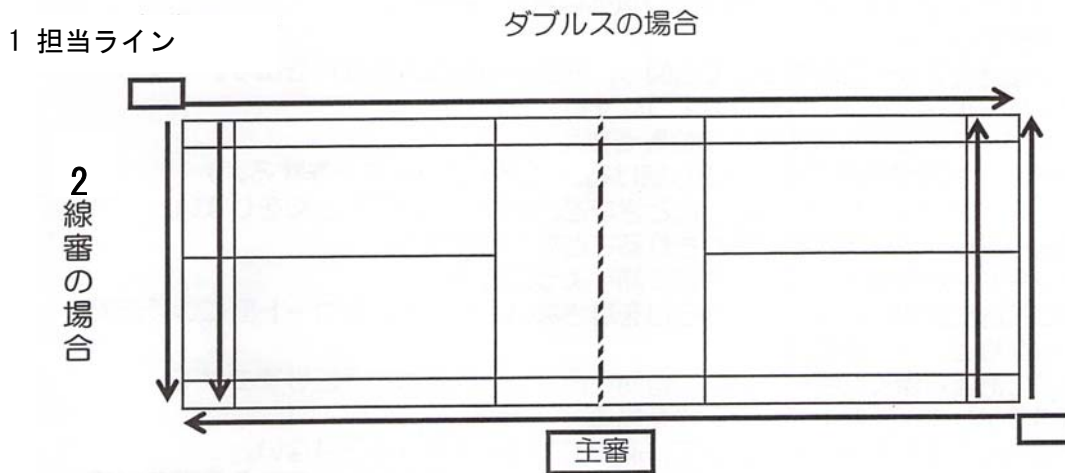
		
<p>○競技規則（プレーの継続、不品行な振る舞い、罰則）第7項（違反に対する処置）が適用される時</p> <p>①第16条第4項（プレーの遅延）、第5項（アドバイスとコートを離れることに関して）、第6項（プレイヤーの禁止行為）のいかなる違反に対しても処置をとる。</p>	<p>○競技規則第9条第1項（7）及び第2項に違反した時</p> <p>①サーバーのラケットの前方への動きが継続されなければならない。</p> <p>☆段階的に手を止めるようにしながら、合図する</p>	<p>○競技規則第9条第1項（2）、（3）に違反した時</p> <p>①サービスコートの境界線に触れずに立つものとする。</p> <p>②サーバー・レシーバーの両足の一部は、サービスを始めてからサービスがなされるまで、その一でコートに接していなければならない。</p>

		
<p>○競技規則第9条第1項(4)に違反した時</p> <p>①ラケットで、最初にシャトルの台を打つものとする。</p>	<p>○競技規則第9条第1項(6)に違反した時</p> <p>①サーバーが持つラケットのシャフトは、シャトルを打つ瞬間に下向きでなければならない。</p> <p>☆手刀を切るように合図する。</p>	<p>○競技規則第9条第1項(5)に違反した時</p> <p>①サーバーのラケットで打たれる瞬間に、シャトル全体がサーバーのウエストより下にななければならない。</p> <p>(ウエストとは肋骨の一番下の部位の高さで、胴体の周りの仮想の線とする。)</p>

2 線審の合図

		
<p>○インの時(シャトルがコート内に落ちたとき)</p> <p>☆無言で手のひらを下に向け右手(片手)でそのラインを指す。</p>	<p>○アウトの時(シャトルがコート外に落ちたとき)</p> <p>☆シャトルがラインの外に落ちたときは、直ちに、プレーヤーと観客にはっきり聞こえるように「アウト」とコールし、同時に主審にはっきりと見えるように両腕を水平に開き、合図をする。</p>	<p>○見えなかった時(シャトルの落下点が見えなかったとき)</p> <p>☆両手で目を覆う。</p>

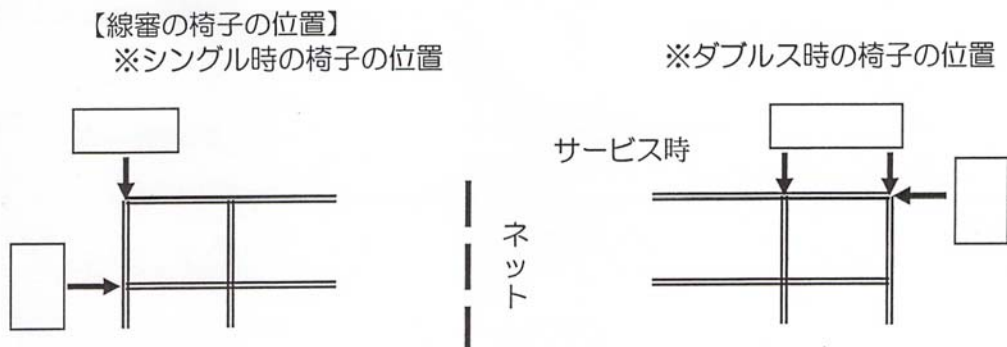
線審担当ラインと椅子の位置及び注意事項



※ 場合によっては、線審の位置が左右逆になることがあります。

2 線審の椅子の位置

- (1) ダブルスとシングルスでは、必ず椅子の位置を変える。
- (2) 椅子は担当ラインの延長線上に置く。
- (3) バックバウンダリーラインを担当する線審のダブルス時の椅子の位置は、ロングサービスライン（ダブルス）とバックバウンダリーライン間である。



留意事項

〔得点表示員〕

1 試合開始前

- (1) 校名・選手名プレートを掲示する。(オーダー順・対戦シートで確認)
- (2) 試合前の公式練習中は所定の位置で着席して待つ。練習終了と同時に起立して、主審の試合開始コール「トウサーブ、ラブオール」の後、「プレイ」の前に、2人とも着席する。

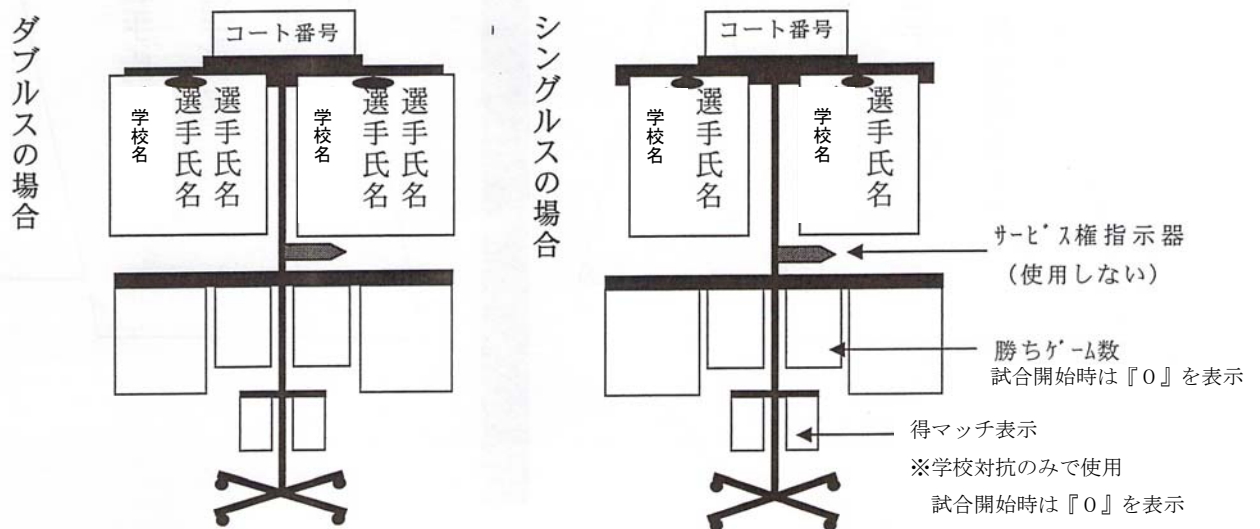
2 試合時

- (1) 得点めくりは、得点を変えた後は着席する。
- (2) 得点をめくる際は、必ず主審のコールを聞いて確認してから行う。
- (3) 試合中は、ラリーに集中し、ゲームの流れに注意することで、めくり間違いを防ぐ。
- (4) 勝ちゲーム数・勝ち試合数(学校対抗戦)のめくり忘れに注意する。
- (5) サービス権の指示器は使用しない。

3 試合終了後

- (1) 各試合終了後の挨拶時は、その場で起立する。
- (2) プレートをはずし、得点表示員①が持って整列・退場する。

4 各プレートの得点表示板への取り付け方

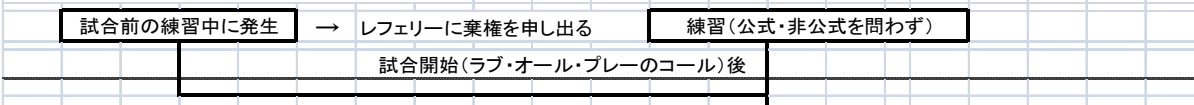


【試合中の怪我・事故などの取り扱いについて】

(公財)全国高体連バドミントン専門部

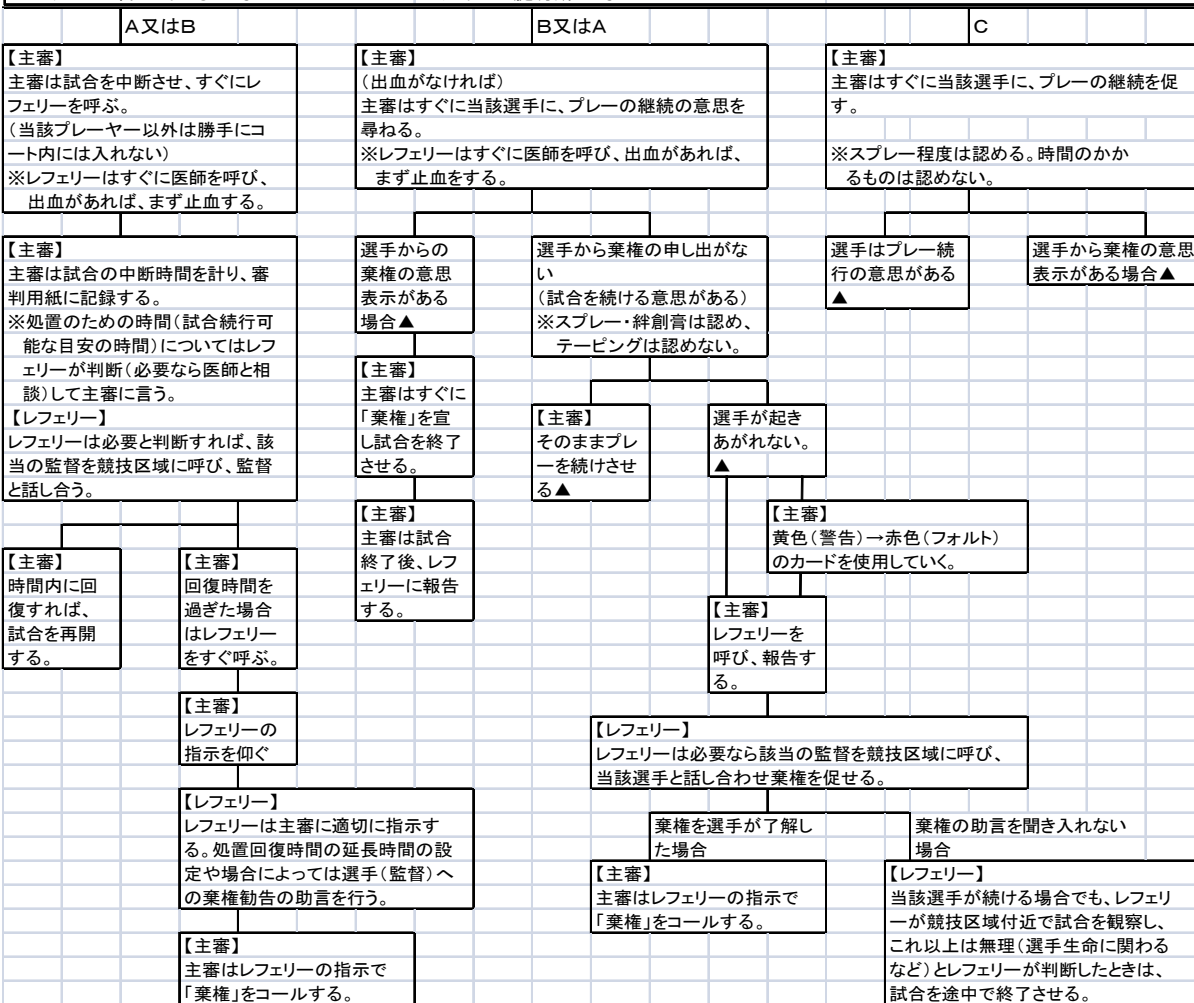
◎(公財)全国高体連バドミントン専門部及び(公財)日本バドミントン協会の主催する全ての1種大会において、試合中に事故や怪我が発生した場合は、原則として次の手順で処置を行うものとします。なお、その他の処置を判断を必要とする場合は、(公財)日本バドミントン協会の競技規則・大会運営規程により、大会のレフェリーが判断(決定)する事になります。

【試合中の選手によるアクシデントの対処について】



アクシデント発生(A~Cの判断は主審によるがAとBに併合性有り)
(インターバル中は除く)

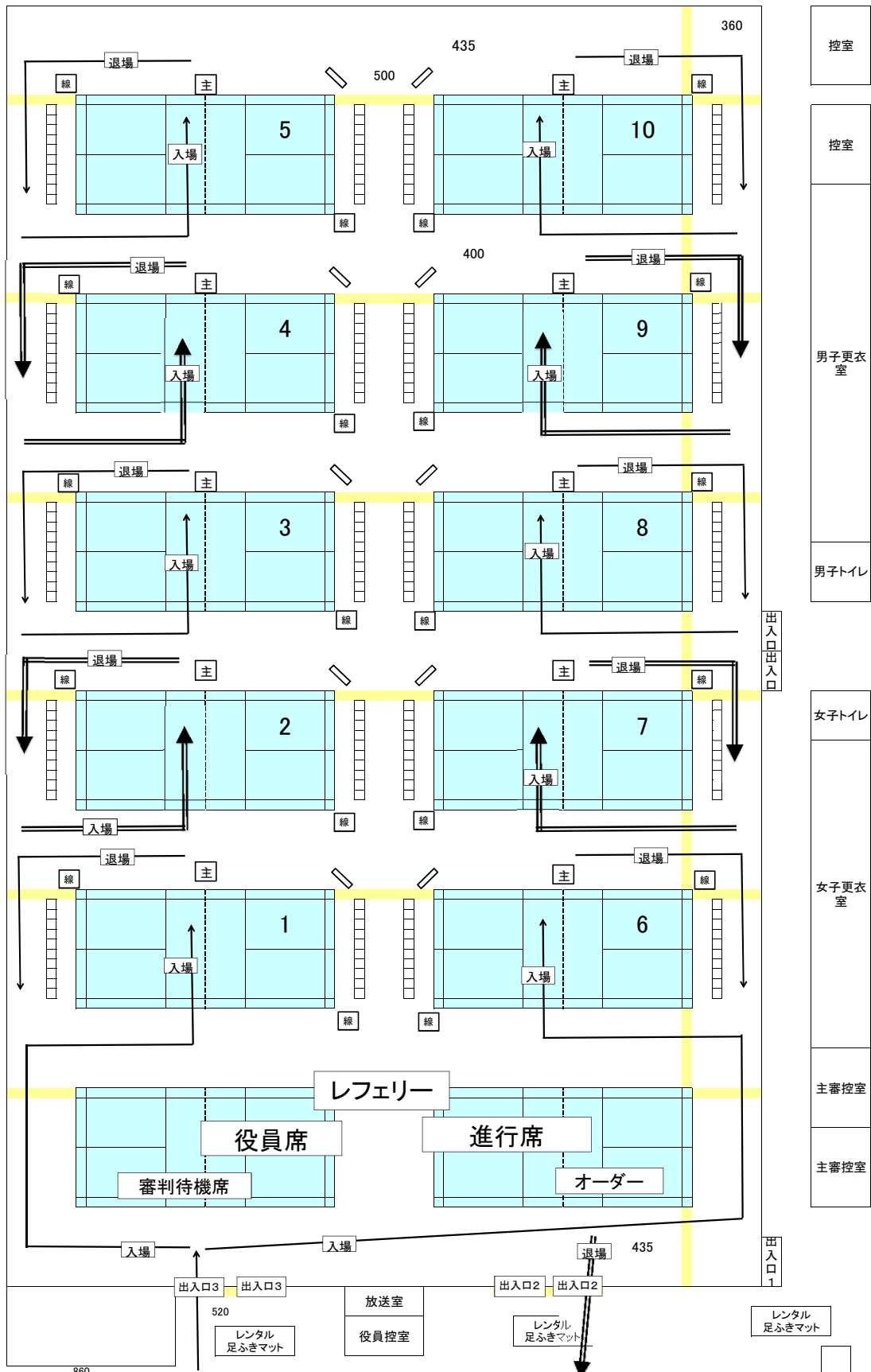
A. やむを得ない事故発生 (選手の不可抗力の部分) ※ラケットがぶつかり出血する ※鼻血が出る ※シャトルが目当たる など	B. 怪我発生 ※足の捻挫 ※パートナー同士の衝突 ※アキレス腱切断 など	C. 足の痙攣発生 (現在日本バドミントン協会では怪我に該当しない見解である。)
---	---	---



【注意事項】 ※レフェリーについては、ディジュティ・レフェリーが代わりに務めることができる。

松本市総合体育館

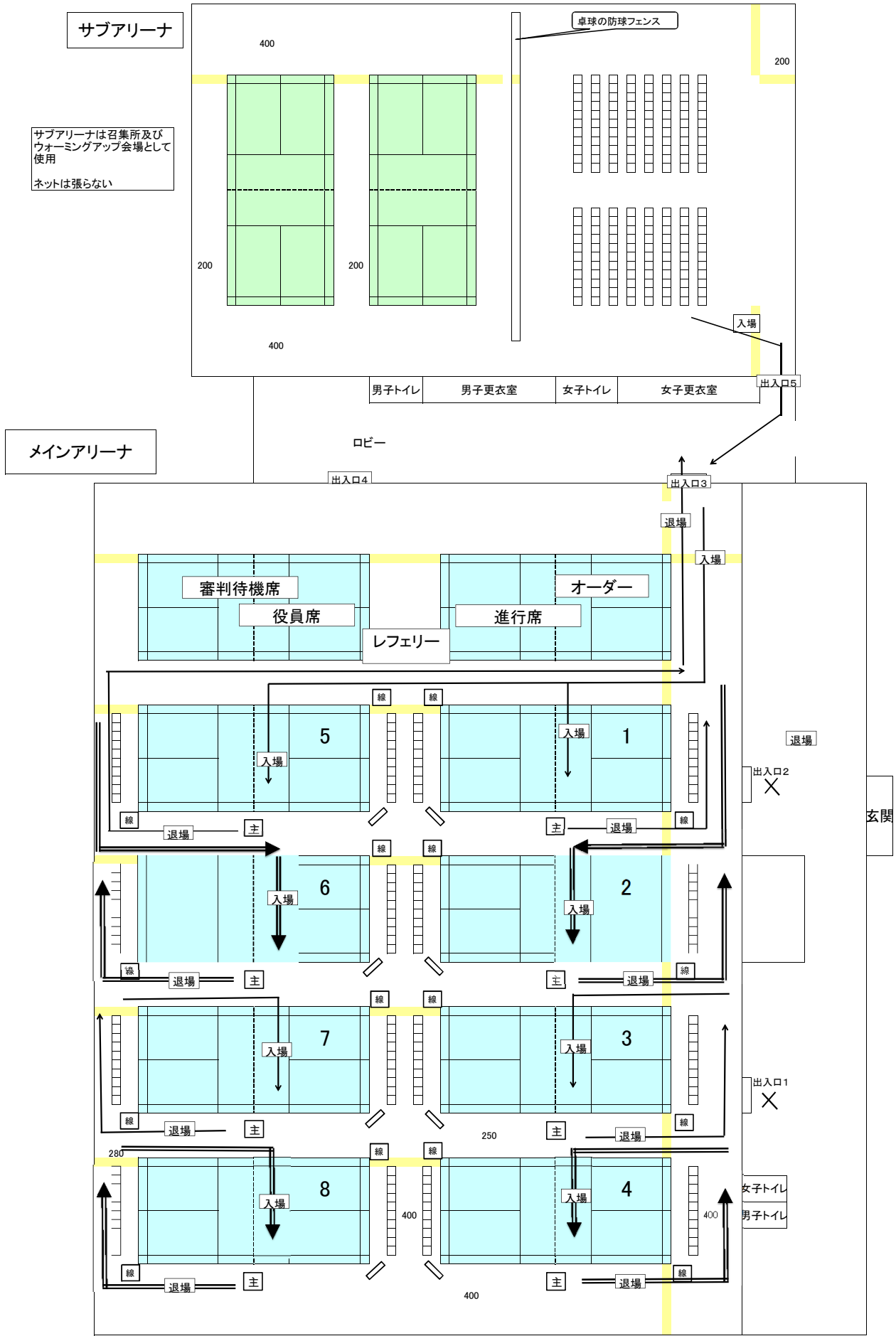
メインアリーナ(1階)



1階ロビー及び通路
選手招集場所

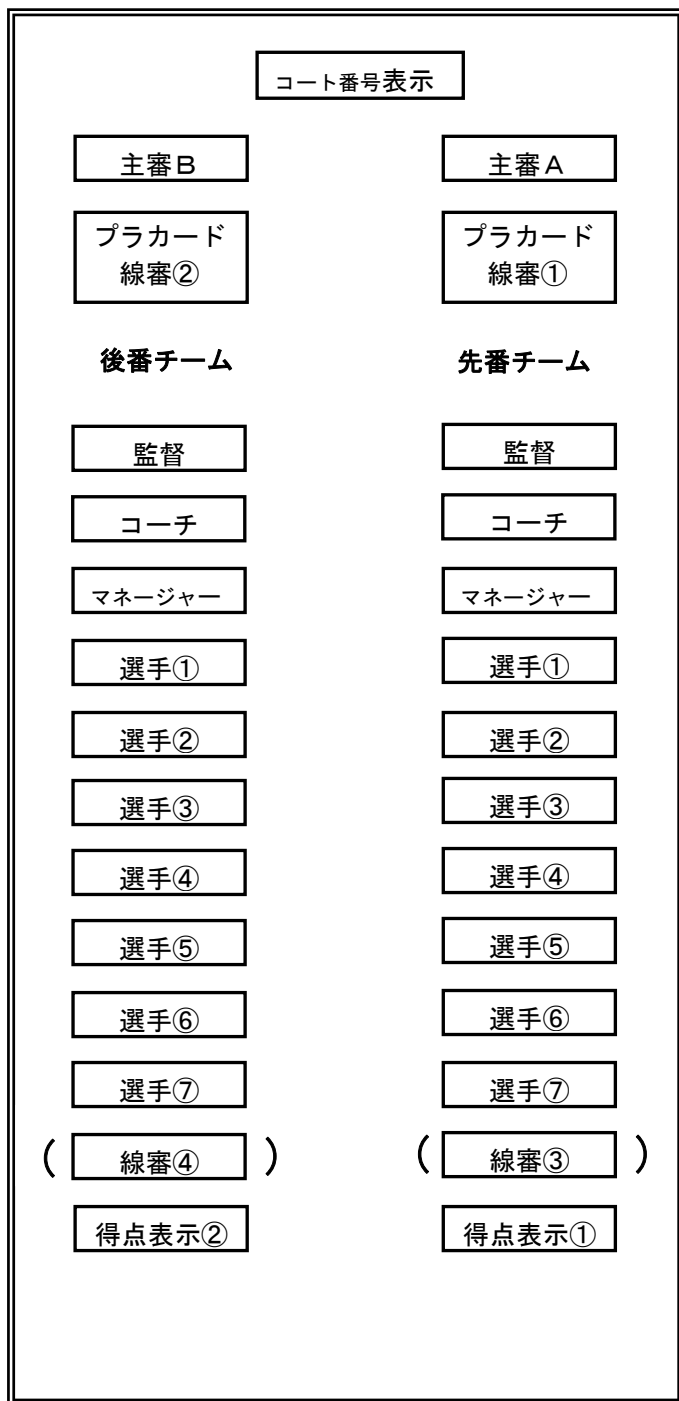
松本市総合体育館は出入り口で靴を履きかえる
ルールのため、入退場がやりづらい。
足ふきマットを敷いて、靴の履き替え無しで入
退場を行うようお願いしている。

松本平広域公園(信州スカイパーク)体育館 男子学校対抗のみ使用



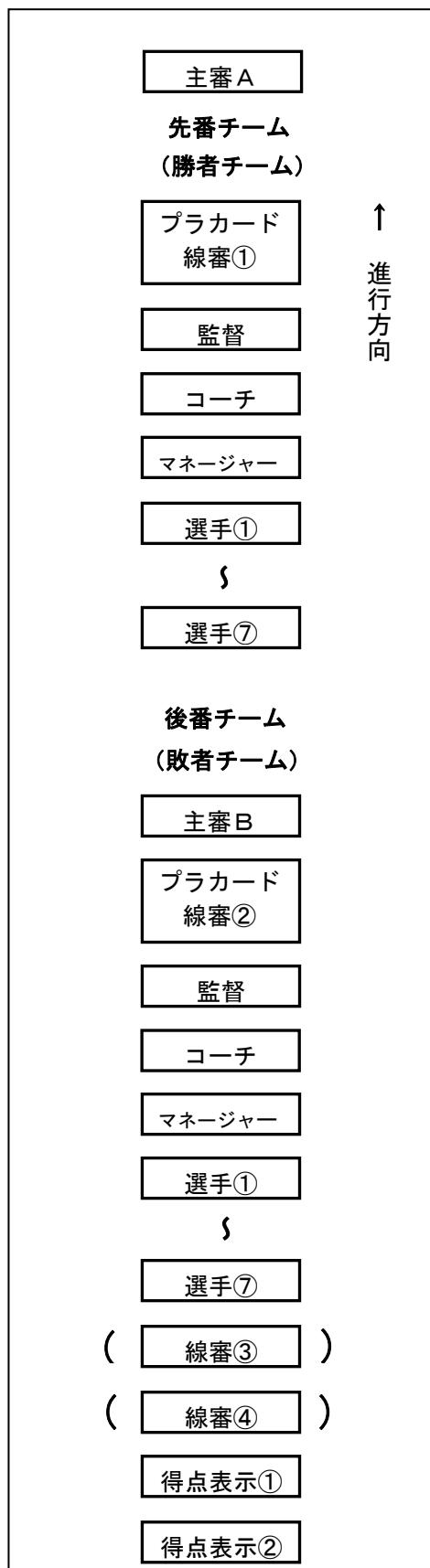
選手集合場所の整列方法 移動・入場時の整列方法
学 校 対 抗

選手集合場所の整列方法



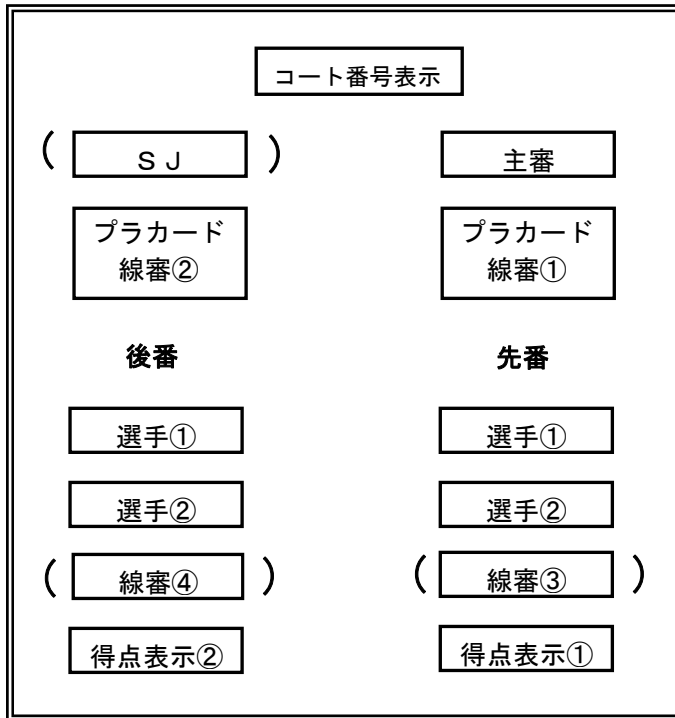
※ () は準決勝以降

入退場時の整列方法



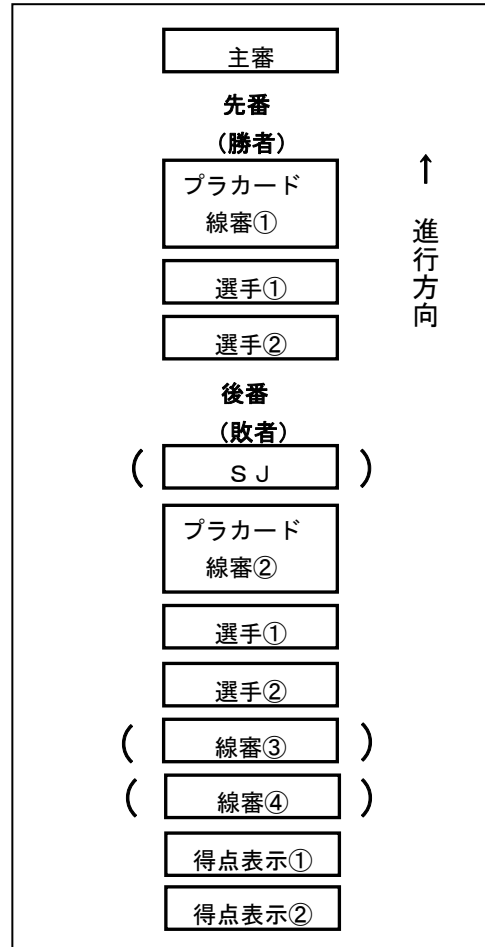
個人対抗 (ダブルス)

選手集合場所の整列方法



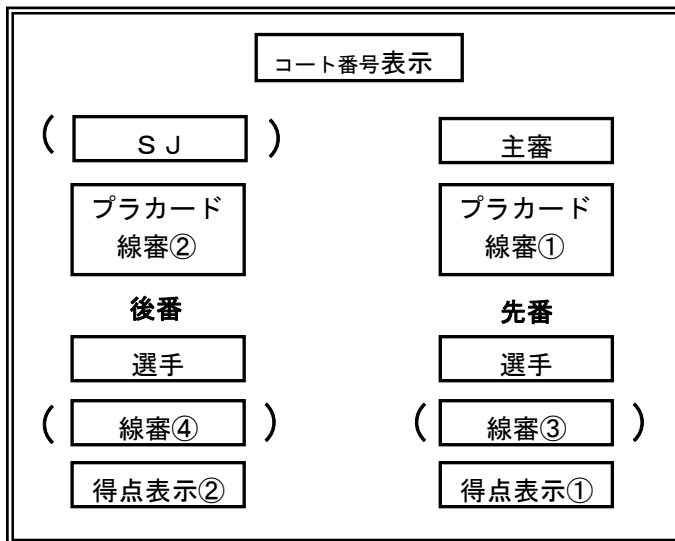
※ () は準決勝以降

入退場時の整列方法



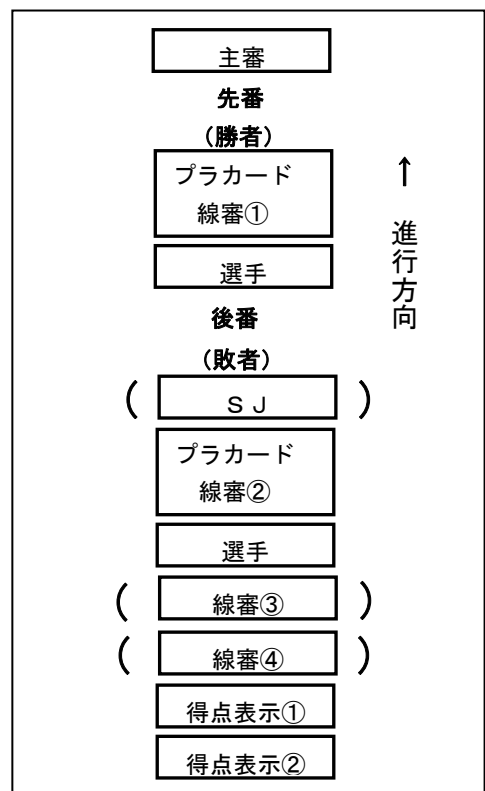
個人対抗 (シングルス)

選手集合場所の整列方法

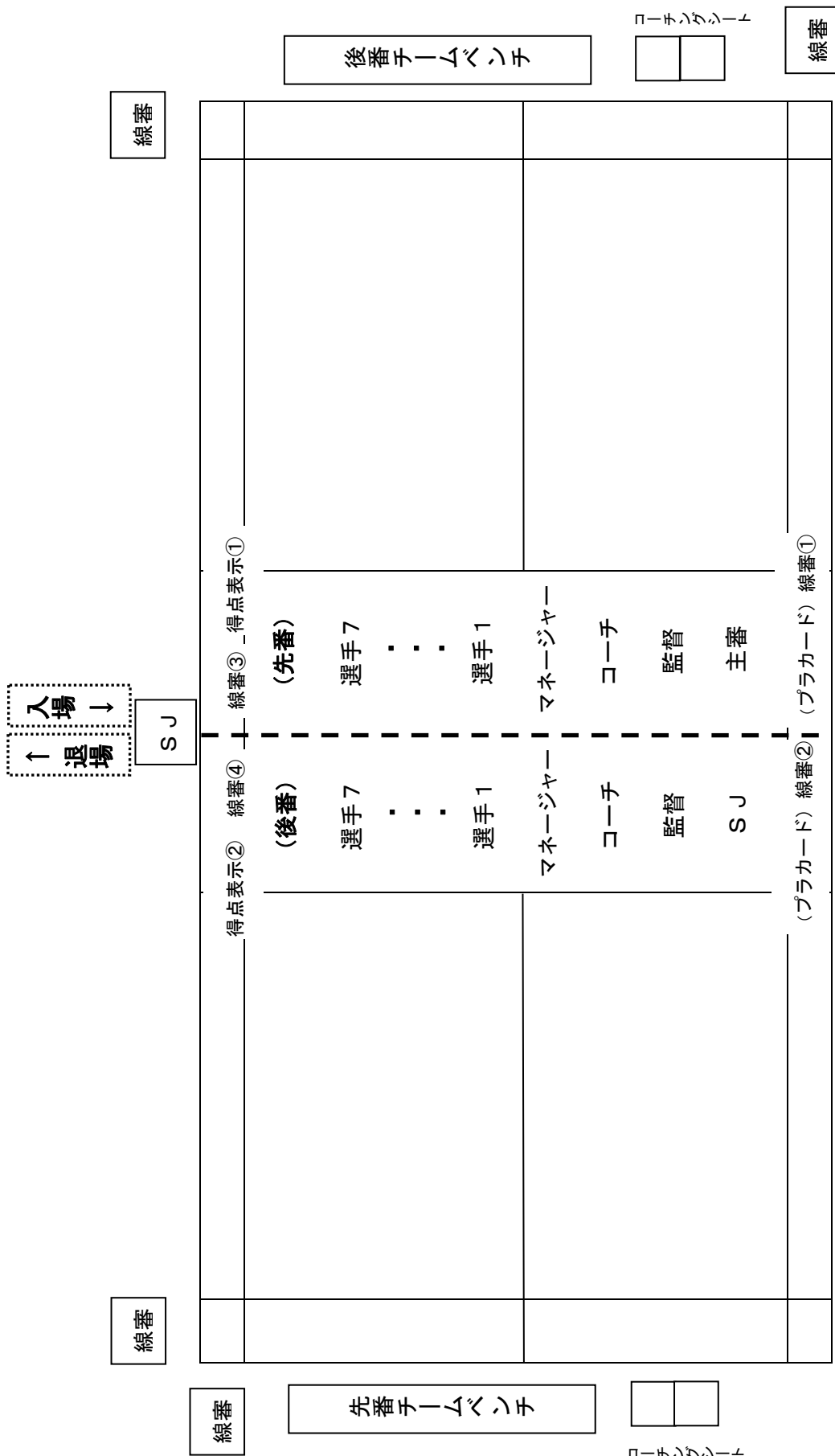


※ () は準決勝以降

入退場時の整列方法



コートでの整列方法



※この図は学校対抗・線審4名を見本としています

※退場は勝者チームより行います

※サーブスジャッジ・線審③④は準決勝以降となります

主審

第42回 全国高等学校選抜バドミントン大会
競技会場 練習割一覧表

各コートとも、1校、1県で独占することなく、譲り合っでの利用をお願いします。

3月21日(金)(学校対抗1日目)のサブ体育館の練習会場は使用できません。

個人戦出場者の練習コートは、3月22日(土)13:00より設定します。

3月19日(水) 松本市総合体育館(女子会場)

コートNo	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
13:00~ 17:00	北海道	東北	関東	関東	関東	北信越	東海	近畿	近畿	中国	四国	九州	九州	長野

3月19日(水) 信州スカイパーク体育館(男子会場)

コートNo	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
13:00~ 17:00	北海道・長野	東北	関東	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国・九州	九州

3月20日(木) 松本市総合体育館(女子会場)

コートNo	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
9:00~ 13:00	北海道	東北	関東	関東	関東	北信越	東海	近畿	近畿	中国	四国	九州	九州	長野

3月20日(木) 信州スカイパーク体育館(男子会場)

コートNo	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
9:00~ 13:00	北海道・長野	東北	関東	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国・九州	九州

3月21日(金) 松本市総合体育館(女子会場) 公式練習コートの割り当て

コートNo	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
8:30~ 8:40(先番)	GT 1	GT 2	GT 4	GT 5	GT 6	GT 7	GT 8	GT 9	GT 10	GT 11
8:40~ 8:50(後番)	GT 1	GT 2	GT 4	GT 5	GT 6	GT 7	GT 8	GT 9	GT 10	GT 11
8:50~ 9:00(先番)	GT 3	GT 12	GT 13	GT 14	GT 15	GT 16	GT 17			
9:00~ 9:10(後番)		GT 12	GT 13	GT 14	GT 15	GT 16	GT 17	GT 18		

3月21日(金) 信州スカイパーク体育館(男子会場) 公式練習コートの割り当て

コートNo	1	2	3	4	5	6	7	8
8:20~ 8:30(先番)	BT 1	BT 3	BT 4	BT 5	BT 6	BT 7	BT 8	BT 9
8:30~ 8:40(後番)	BT 1	BT 3	BT 4	BT 5	BT 6	BT 7	BT 8	BT 9
8:40~ 8:50(先番)	BT 2	BT 10	BT 11	BT 12	BT 13	BT 14	BT 15	BT 16
8:50~ 9:00(後番)		BT 10	BT 11	BT 12	BT 13	BT 14	BT 15	BT 16
9:00~ 9:10	BT 17	BT 17						

3月22日(土) 松本市総合体育館 公式練習コートの割り当て

コートNo	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
8:30~ 8:45(先番)	BT26	BT27	BT28	BT29		GT27	GT28	GT29	GT30	
8:45~ 9:00(後番)	BT26	BT27	BT28	BT29		GT27	GT28	GT29	GT30	

3月23日(日) 松本市総合体育館 公式練習コートの割り当て

コートNo	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
8:30~ 8:40	BD1	BD2	BD3	BD4		GD1	GD2	GD3	GD4	
8:40~ 8:50	BD5	BD6	BD7	BD8	BD9	BD10	BD11	BD12		
8:50~ 9:00	GD5	GD6	GD7	GD8	GD9	GD10	GD11	GD12		

3月24日(月) 松本市総合体育館 公式練習コートの割り当て

コートNo	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
8:30~ 8:45		BD17	BD18				GD17	GD18		
8:45~ 9:00	BS13	BS14	BS15	BS16		GS13	GS14	GS15	GS16	

松本市総合体育館サブアリーナ 練習割一覧表(個人戦出場選手)

3月22日(土) (学校対抗 2日目) 松本市総合体育館 サブアリーナ

コートNo	1	2	3	4
13:00~17:00	北海道・東北・関東(男)	関東(女)・東海・北信越	近畿・中国・四国(男)	四国(女)・九州・長野

3月23日(日) (個人対抗 1日目) 松本市総合体育館 サブアリーナ

コートNo	1	2	3	4
9:00~13:00	北海道・東北・関東(男)	関東(女)・東海・北信越	近畿・中国・四国(男)	四国(女)・九州・長野